

PresentationDemo

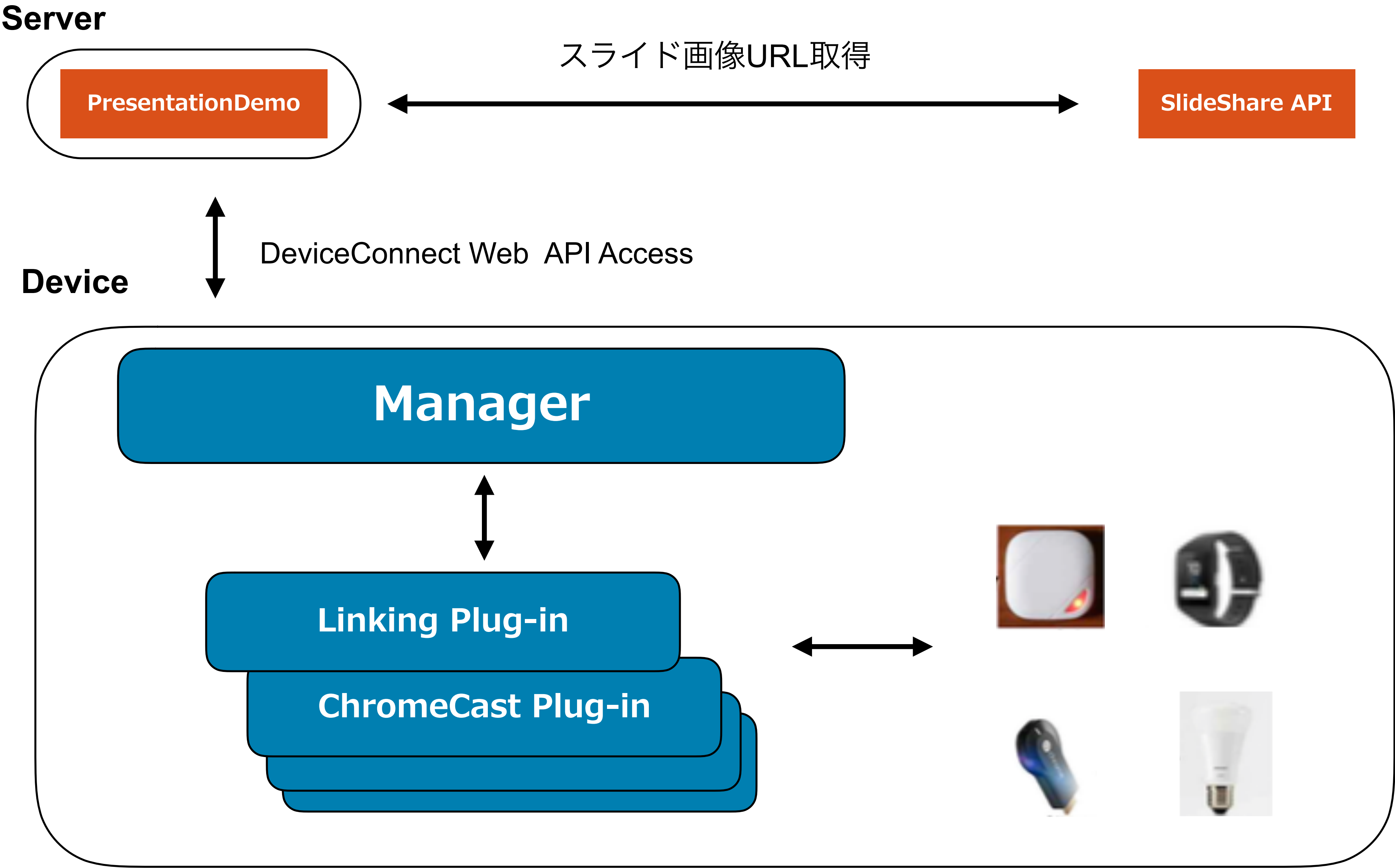
操作説明書

1.0版
2016年03月10日

目次

- ・構成図 3
- ・デモアプリへのアクセス 4
- ・画面一覧 5
- ・表示先/タイマー動作設定 6
- ・DeviceConnect設定 7
- ・SlideShare設定とその他 8
- ・SlideShare情報の取得方法 9
- ・slideSuffix設定 10
- ・プレゼンテーション動作について 11

構成図



デモアプリへのアクセス

任意のホストに、デモアプリ一式(demoSiteフォルダ以下)を配置します。
(本資料ではManagerのWEBサーバ機能を活用し、Android端末内のローカルサーバ(**192.168.1.199:8080**)に配置しています。)

デモアプリ本体



<http://192.168.1.199:8080/index.html>

パラメータ無しのリンクで開いた場合はcookieに保存された情報を参照して動作します。
(デフォルトの設定はuserName:KeiichiroFujii, slideName:vdc-5th-ntt)

デモアプリ本体には
スライド情報を含めたURLで
アクセスすることが可能です。

<http://192.168.1.199:8080/#/?userName=KeiichiroFujii&slideName=vdc-5th-ntt>

外部サイト等



<http://192.168.1.199:8080/list.html>

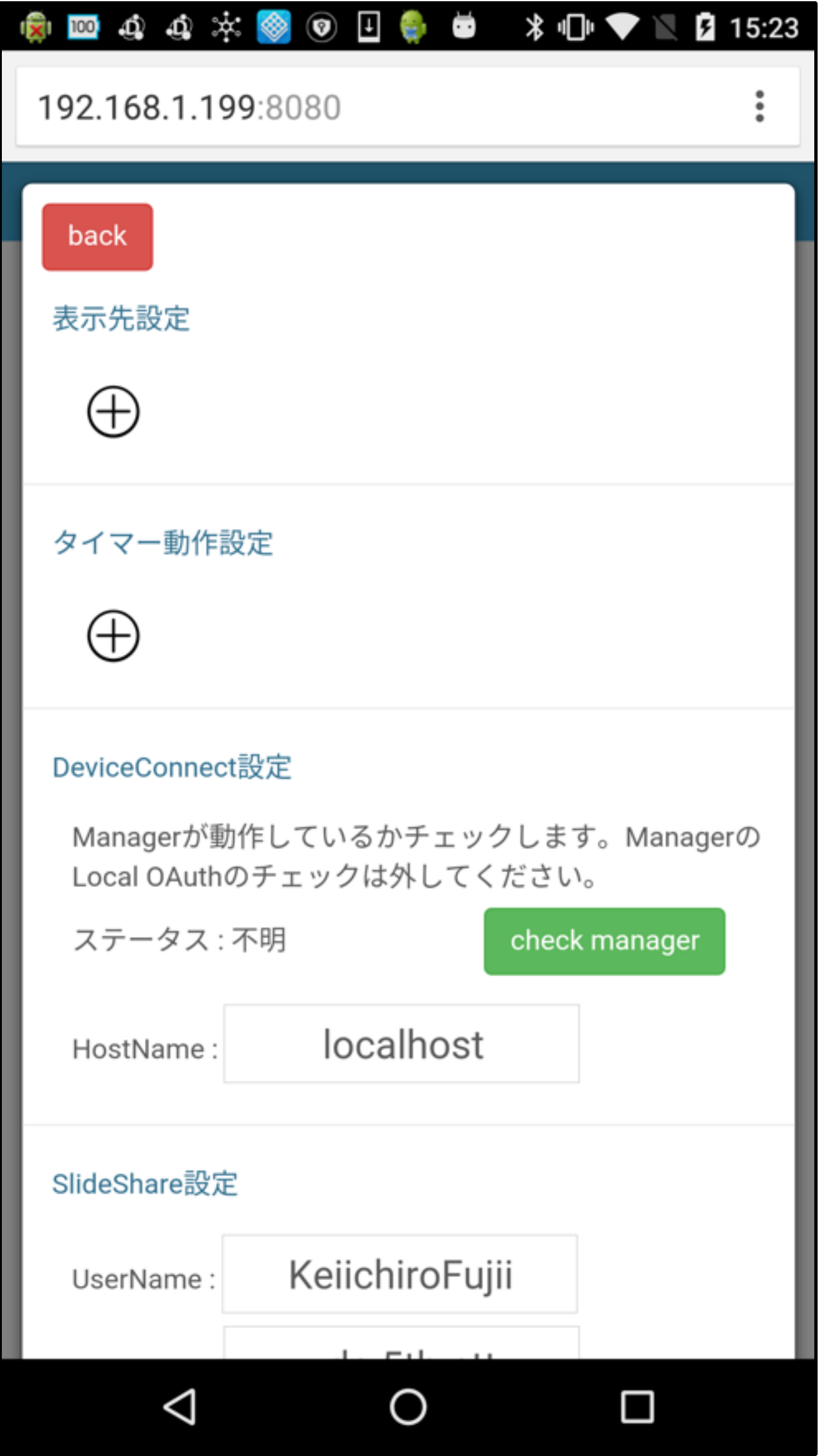
外部アクセス検証用のサンプルHTML
(HostNameとPortの書き換えが必要です)

画面一覧

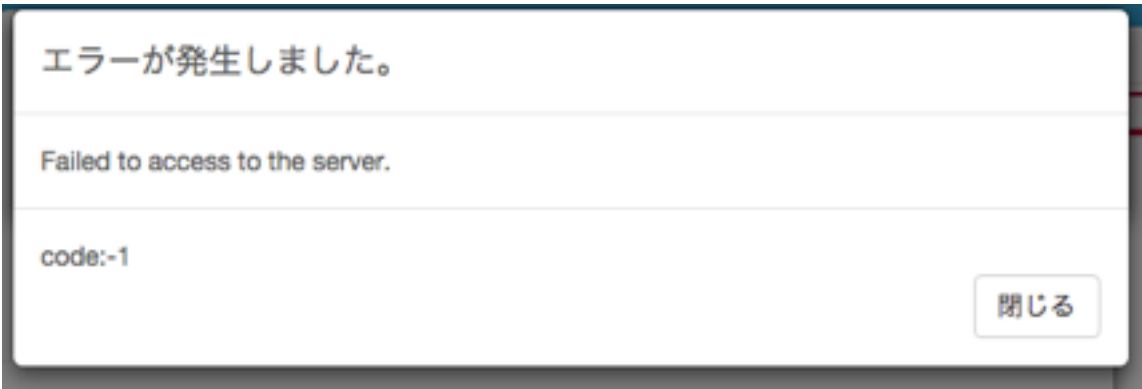
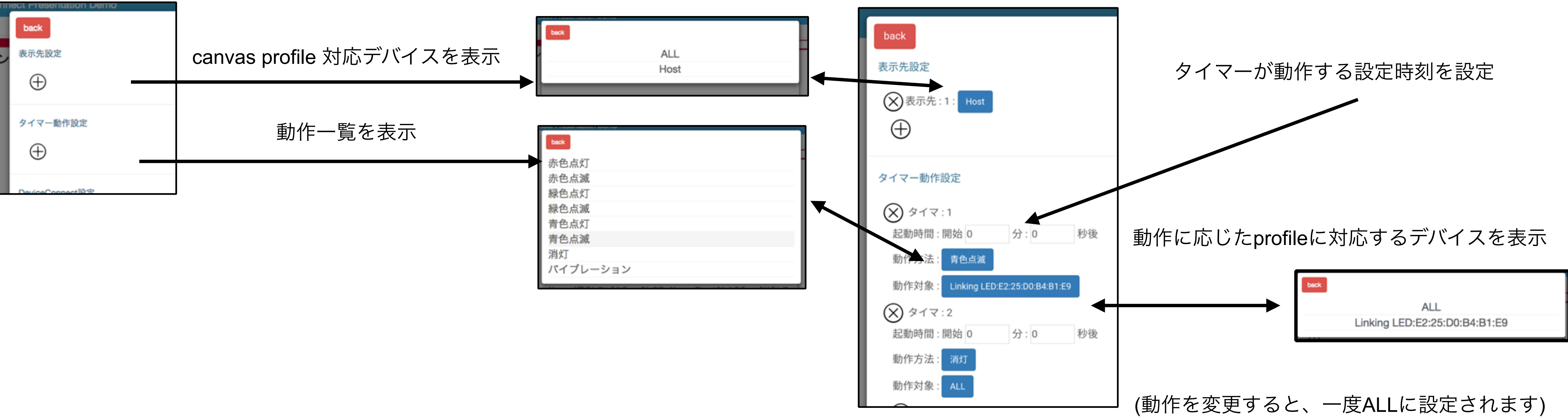
トップ画面



設定画面



表示先/タイマー動作設定



デバイスを表示する際、
Managerと通信できなかった場合は
左のようなダイアログが表示されます。



このボタンを押すとその設定は削除されます

DeviceConnect設定

Managerとの疎通確認(availability)と、HostNameの設定が可能です。

DeviceConnect設定

Managerが動作しているかチェックします。ManagerのLocal OAuthのチェックは外してください。

ステータス : 不明

check manager

HostName : localhost

動作している場合はバージョン番号が表示されます。

ステータス : 動作中(ver 2.0.0)

check manager

疎通確認に失敗した時はダイアログが表示されます。

PC

Device Web API Managerとの通信ができませんでした。

Managerが動作している端末のホスト名が正しく入力されているか、またはManagerがONになっているかどうかをご確認ください。

Manager側で必要な設定

- 外部IPを許可にチェック
- Local OAuthのチェックを外す

閉じる

Android

Device Web API Managerとの通信ができませんでした。

Managerが端末にインストールされているかどうかを確認しますか？

- インストールされている場合はManagerの設定画面が開きます。ManagerをONにした後、本アプリをお使いください。
- インストールされていない場合は、Google Play Store へ移動します。

閉じる

確認する

iOS

Device Web API Managerとの通信ができませんでした。

Managerが端末にインストールされているかどうかを確認しますか？

- インストールされている場合はManagerの設定画面が開きます。ManagerをONにした後、本アプリをお使いください。
- インストールされていない場合は、App Store へ移動します。

閉じる

確認する

SlideShare設定とその他

SlideShare設定

UserName :

KeiichiroFujii

slideName :

vdc-5th-ntt

slideSuffix :

その他

Cookieに保存されている設定情報を削除します。

clear cookie

スライドの情報を設定することができます。
設定画面を閉じた際に再ロードが走ります。

clear cookieでは、全ての設定がクリアされ、
デフォルトの状態になります。

SlideShare情報の取得方法

1 PCブラウザにてSlideShareにアクセスします。



2 スライドのページへアクセスし、URLからUserNameとSlideNameを抜き出します。これを、デモアプリの設定にパラメータとしてセットします。

UserName SlideName



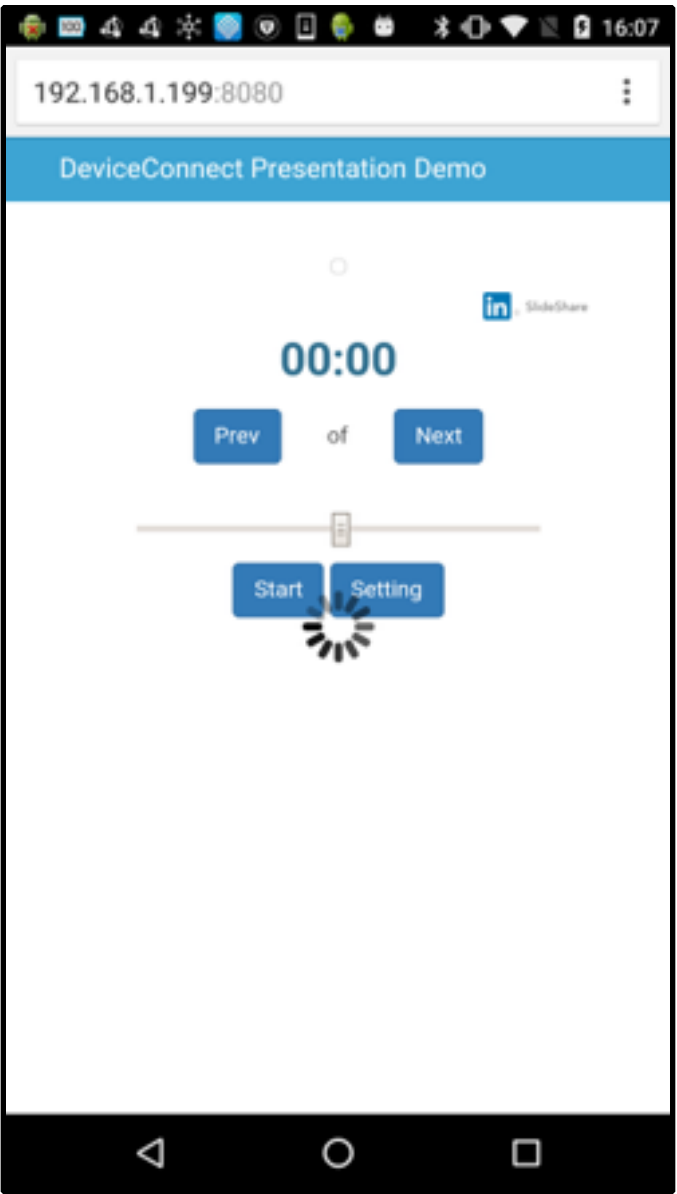
この場合は
UserNameがKeiichiroFujii
SlideNameがvdc-5th-ntt
になります

slideSuffix設定

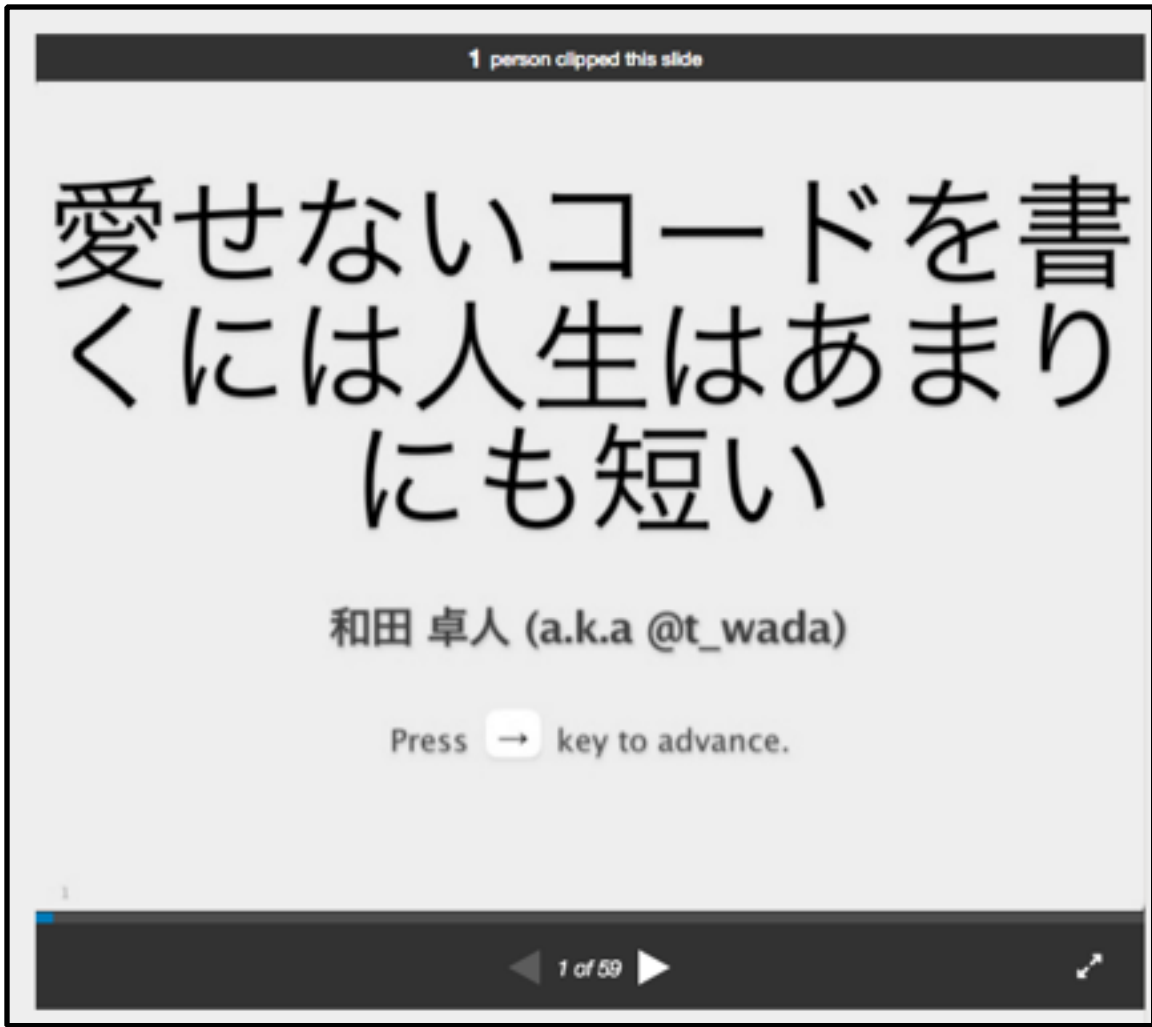
正しいUserNameとSlideNameを指定しても、スライドが読み込めない場合があります。
その場合は、slideSuffixの設定を行うと読み込める可能性があります。

SlideName :

slideSuffix :



slideSuffixが必要なスライドの例 (t_wada, devlove2012-twada-tdd)



こういった場合は、一度SlideShareで、右クリックによる"画像アドレスをコピー"を左図の上で行います。
[http:// image.slidesharecdn.com/devlove2012twadatdd-121217020107-phpapp01/95/-1 -638.jpg?cb=1355709811](http://image.slidesharecdn.com/devlove2012twadatdd-121217020107-phpapp01/95/-1-638.jpg?cb=1355709811)
それにより有効なslideSuffixを割り出し、その値をデモアプリで設定することで使用可能になります。

URLのパラメータにも対応しているので、下記のように作成したリンクからアクセスすることでも使用可能です。
http://<HostName>/#/?userName=t_wada&slideName=devlove2012-twada-tdd&slideSuffix=-638.jpg

プレゼンテーションの動作について



1 Start押下時

スライドが最初の1枚目になります。設定された各送信先にそのスライドの画像URLを送信します。全てのタイマーの設定を読み込み、指定時間後に指定動作が行われるようにセットされます。0分0秒後に設定されているものはこの時実行されます。

2 プレゼンテーション中

スライドをPrev/Next/スライダー操作/フリック操作で切り替えるたび、そのスライドの画像URLを送信します。

タイマーの指定時間が経過した時、設定した指定動作が行われます。

3 End押下時

各送信先にスライド画像を非表示にするリクエストを送信します。指定時刻が来ていないタイマーは解除されます。